

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 28 年 3 月 31 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業	
企画名	
平成 27 年度厚生労働省委託事業 プレスセミナー（東京開催） 明日からの「がん報道」に役立つ「緩和ケア最新講座」	
事前告知、募集の方法について（ポスター、チラシの配布など）	
報道機関へのプレスリリース送付	
企画名	
日時（期間）	2015 年 11 月 18 日（水）15：00 ～17：30
実施場所	国際研究交流会館 3 階 国際会議場 〔国立がん研究センター築地キャンパス内・東京都中央区築地 5-1-1〕
参加人数	一般市民、参加費無料（定員なし）
具体的な実施内容： ＜プログラム＞ ◆ オープニングメッセージ 「緩和ケアが診断時から必要と理解している人はまだ 6 割」 細川 豊史 氏（日本緩和医療学会 理事長） ◆ 緩和ケア最新講座） 「がんの痛みを抑える医療用麻薬の活用を阻む『3 人に 1 人は誤解』の壁」 池永 昌之 氏（日本緩和医療学会 委託事業委員会 普及啓発 WPG 副員長/ 淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長） 「からだの痛みのケアだけでなく、こころの痛みのケアは行き届いたか？」 上村 恵一 氏（日本緩和医療学会 委託事業委員会委員長/市立札幌病院 精神医療センター 副医長） 「痛みや辛さをうけとめ、和らげるチーム～こんなチームをもっと全国へ～」 緩和ケアチーム（国立がん研究センター 緩和ケアチーム）	

「『もっと身近に！』緩和ケア普及啓発キャンペーン発表～がん治療医の立場から～」

下山 理史氏（日本緩和医療学会 委託事業委員会 普及啓発 WPG 員長/愛知県立
がんセンター中央病院 緩和ケアセンター 副センター長）

- ◆ 質疑応答・交流
- ◆ 司会 たかまつ なな（「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーンメッセンジャー）
- ◆ 情報コーナー設置：ガイダンス・関連団体の情報、緩和ケアチーム、研修会等

効果について（アンケートの結果など）

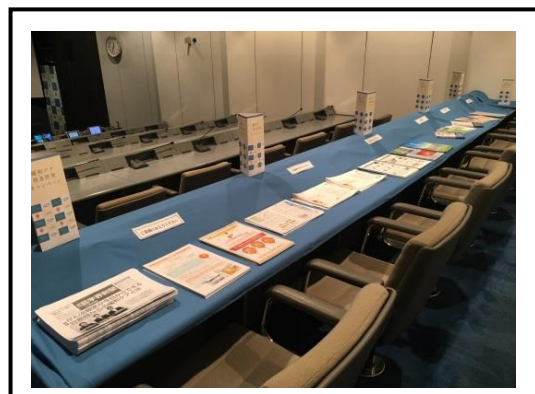
別添グラフ参照をご参照ください

その他報告

2016 年のがん対策基本法 10 周年に向けて、がん対策の加速化が目指される中「緩和ケアとは、病気に伴う心と体の痛みを和らげること」という正しい知識は、まだ 4 割の方に誤解されている。この誤解を解決するため、がん報道の担い手である報道関係者に本来身近であるべき緩和ケアについての選りすぐった正しい知識と、オレンジバルーンプロジェクトについて分かりやすく伝える場を設けた。

会場では緩和ケア最新講座取材に役立つよう、ガイダンス・関連学会の情報と緩和ケアチーム・研修会等についての情報が得られる情報コーナーを設置することで、緩和ケアに対して興味を得て頂いた報道関係者に情報を持ち帰っていただけるよう工夫した。なお参加者には「緩和ケア最新講座参加証」を発行した。

●当日の写真



緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 28 年 3 月 31 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業	
企画名	
平成 27 年度厚生労働省委託事業 プレスセミナー（名古屋開催） 明日からの「がん報道」に役立つ「緩和ケア最新講座」	
事前告知、募集の方法について（ポスター、チラシの配布など）	
報道機関へのプレスリリース送付	
当日の実施内容について	
日 時（期 間）	2015 年 11 月 25 日（水）14：00 ～ 16：30
実 施 場 所	ナディアパーク デザインセンタービル〔愛知県名古屋市中区栄 3-18-1〕
参 加 人 数	定 員 … 50 名（報道関係者・参加費無料） 申込方法 … FAX、専用ウェブサイト申請フォーム
具体的な実施内容： ＜プログラム＞ ◆ オープニングメッセージ 「緩和ケアが診断時から必要と理解している人はまだ 6 割」 細川 豊史 氏（日本緩和医療学会 理事長） ◆ 緩和ケア最新講座） 「がんの痛みを抑える医療用麻薬の活用を阻む『3 人に 1 人は誤解』の壁」 池永 昌之 氏（日本緩和医療学会 委託事業委員会 普及啓発 WPG 副員長/ 淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長） 「からだの痛みのケアだけでなく、こころの痛みのケアは行き届いたか？」 上村 恵一 氏（日本緩和医療学会 委託事業委員会委員長/市立札幌病院 精神医療センター 副医長） 「痛みや辛さをうけとめ、和らげるチーム～こんなチームをもっと全国へ～」 緩和ケアチーム（名古屋医療センター 緩和ケアチーム）	

『もっと身近に！』緩和ケア普及啓発キャンペーン発表～がん治療医の立場から～

下山 理史氏（日本緩和医療学会 委託事業委員会 普及啓発 WPG 員長/愛知県立
がんセンター中央病院 緩和ケアセンター 副センター長）

- ◆ 質疑応答・交流
- ◆ 司会 たかまつ なな（「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーンメッセンジャー）
- ◆ 情報コーナー設置：ガイダンス・関連団体の情報、緩和ケアチーム、研修会等

効果について（アンケートの結果など）

別添グラフを参照ご参照ください

その他報告

2016 年のがん対策基本法 10 周年に向けて、がん対策の加速化が目指される中「緩和ケアとは、病気に伴う心と体の痛みを和らげること」という正しい知識は、まだ 4 割の方に誤解されている。この誤解を解決するため、がん報道の担い手である報道関係者に本来身近であるべき緩和ケアについての選りすぐった正しい知識と、オレンジバルーンプロジェクトについて分かりやすく伝える場を設けた。

会場では緩和ケア最新講座取材に役立つよう、ガイダンス・関連学会の情報と緩和ケアチーム・研修会等についての情報が得られる情報コーナーを設置することで、緩和ケアに対して興味を得て頂いた報道関係者に情報を持ち帰っていただけるよう工夫した。なお参加者には「緩和ケア最新講座参加証」を発行した。

●当日の写真



平成27年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動
プレスセミナー 明日からの「がん報道」に役立つ「緩和ケア最新講座」
アンケート集計結果(グラフ)

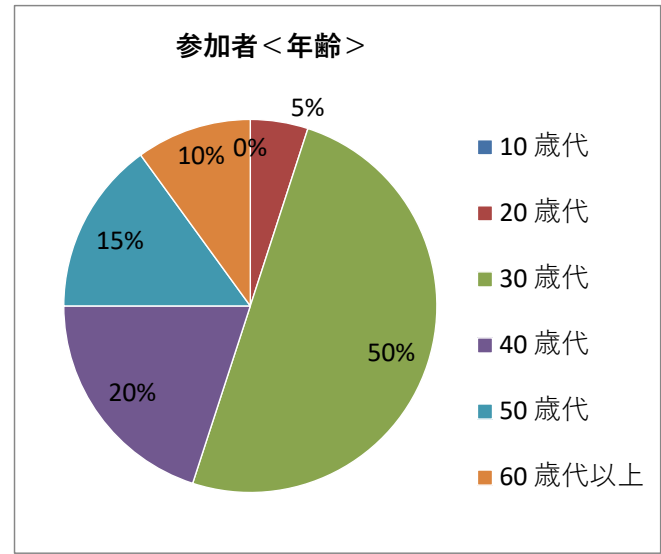
東京プレスセミナー参加者数	37
アンケート回収数	17
回収率	46%

名古屋プレスセミナー参加者数	10
アンケート回収数	3
アンケート回収数	30%

1:ご自身についてお伺いします。

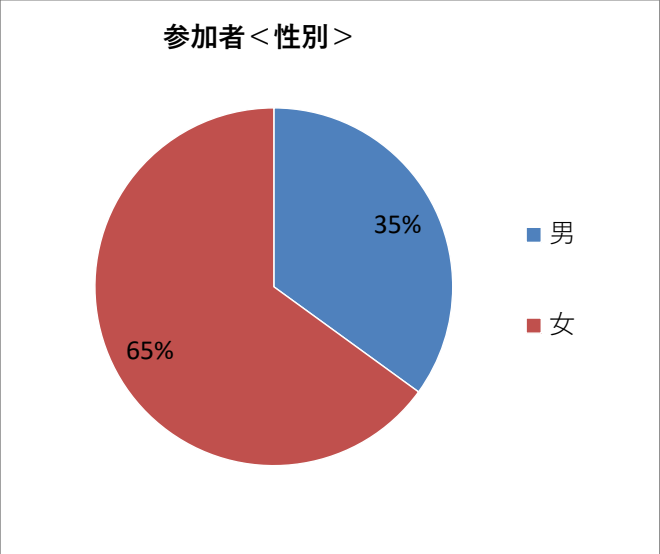
参加者＜年齢＞

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代以上	合計
人数	0	1	10	4	3	2	20



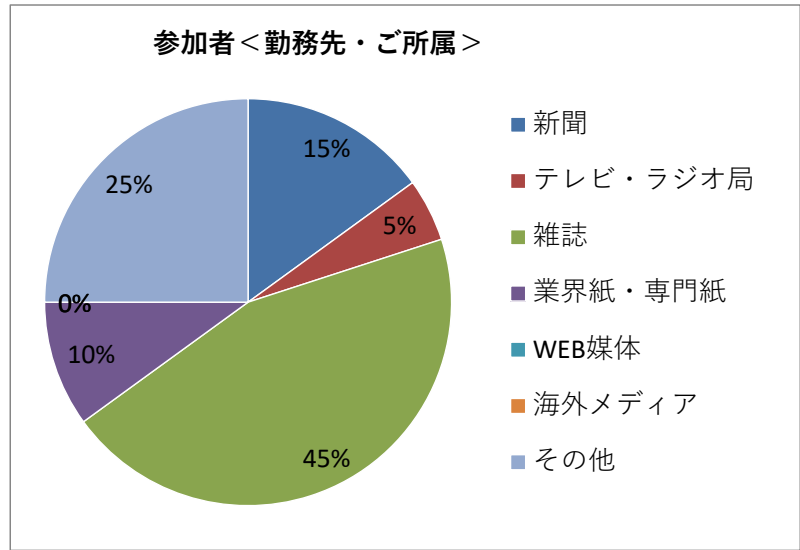
参加者＜性別＞

	男	女	合計
人数	7	13	20



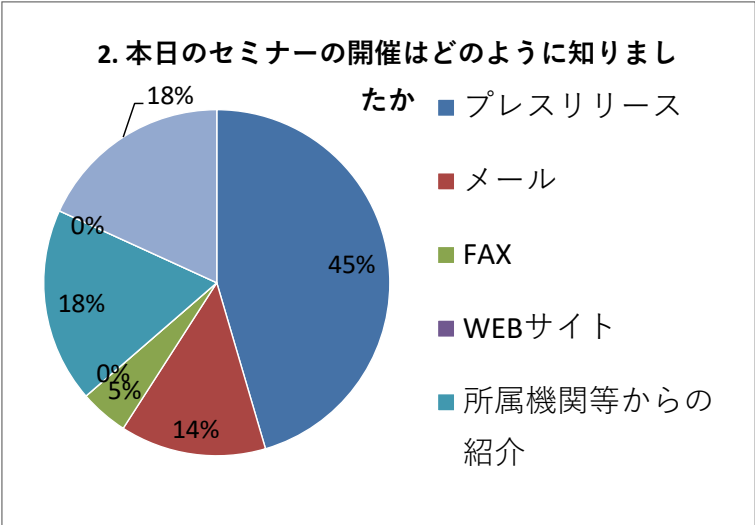
参加者＜所属＞

	新聞	テレビ・ラジオ局	雑誌	業界紙・専門紙	WEB媒体	海外メディア	その他	合計
人数	3	1	9	2	0	0	5	20



2:本日のプレスセミナーの開催はどのように知りましたか。(複数回答可)

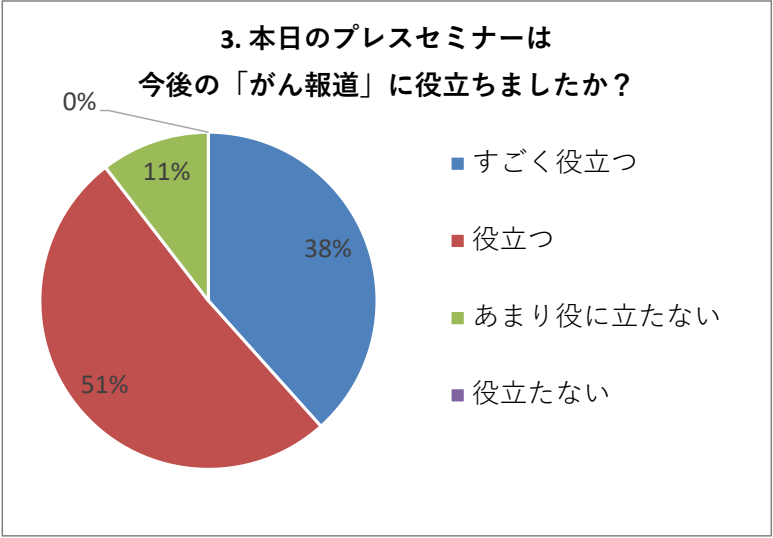
	プレスリリース	メール	FAX	WEBサイト	所属機関等からの紹介	Facebook, Twitterなど	その他	合計
人数	10	3	1	0	4	0	4	22



平成27年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動
プレスセミナー 明日からの「がん報道」に役立つ「緩和ケア最新講座」
アンケート集計結果(グラフ)

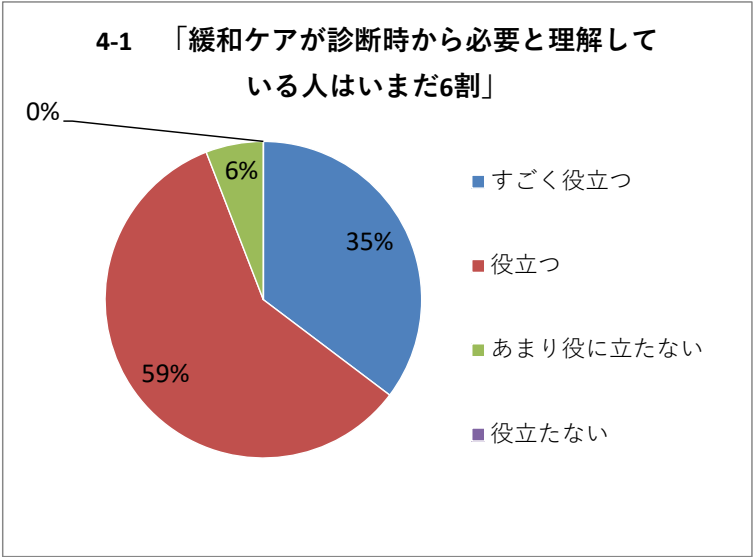
4 本日のプレスセミナーは今後の「がん報道」に役立ちましたか？(4-1から4-5の回答の総計)

	すごく役立つ	役立つ	あまり役に立たない	役立たない	合計
人数	33	44	9	0	86



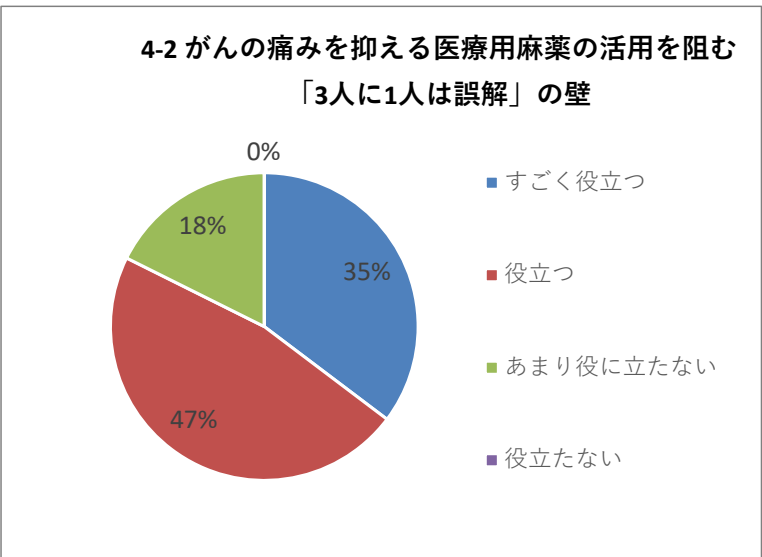
4-1 「緩和ケアが診断時から必要と理解している人はまだ6割」

	すごく役立つ	役立つ	あまり役に立たない	役立たない	合計
人数	6	10	1	0	17



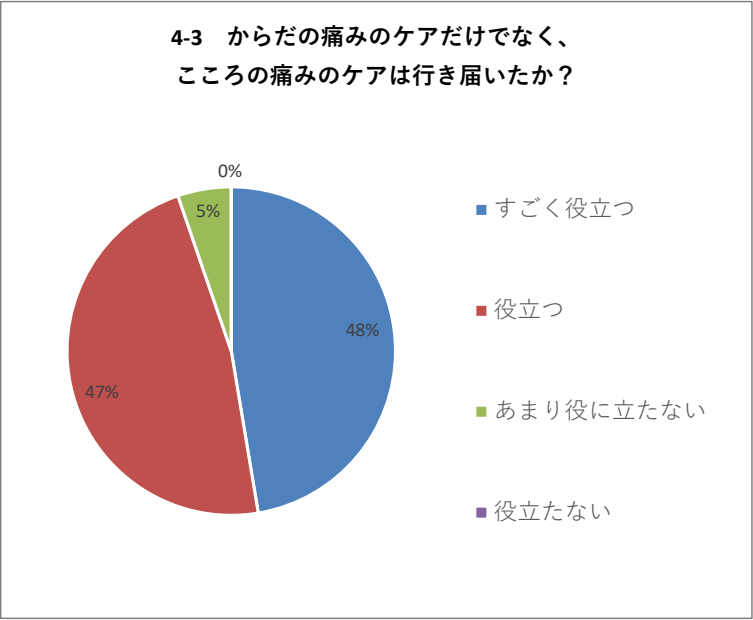
4-2 がんの痛みを抑える医療用麻薬の活用を阻む「3人に1人は誤解」の壁

	すごく役立つ	役立つ	あまり役に立たない	役立たない	合計
人数	6	8	3	0	17



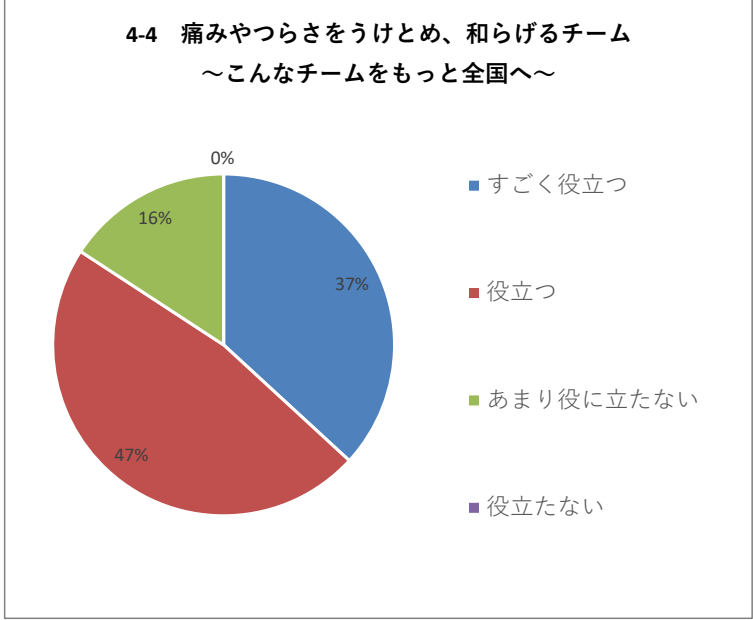
4-3 からだの痛みのケアだけでなく、こころの痛みのケアは行き届いたか？

	すごく役立つ	役立つ	あまり役に立たない	役立たない	合計
人数	9	9	1	0	19



4-4 痛みやつらさをうけとめ、和らげるチーム ～こんなチームをもっと全国へ～

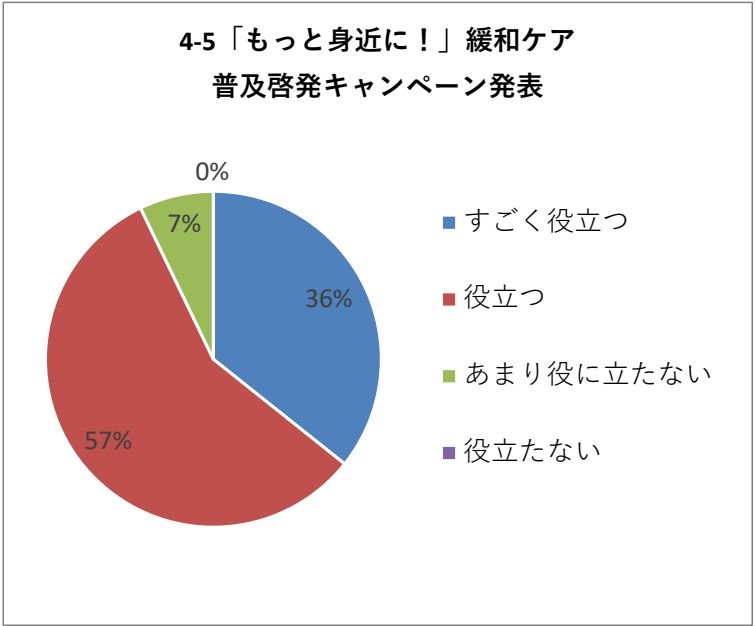
	すごく役立つ	役立つ	あまり役に立たない	役立たない	合計
人数	7	9	3	0	19



平成27年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動
プレスセミナー 明日からの「がん報道」に役立つ「緩和ケア最新講座」
アンケート集計結果(グラフ)

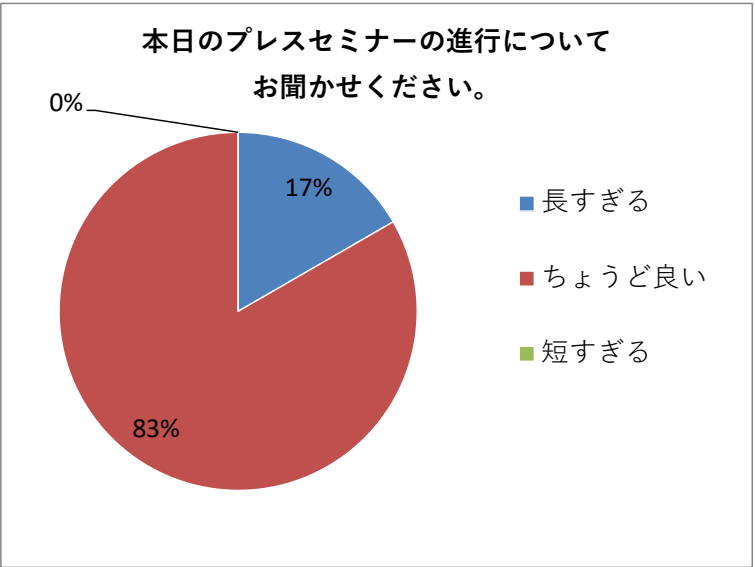
4-5 「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーン発表

	すごく役立つ	役立つ	あまり役に立たない	役立たない	合計
人数	5	8	1	0	14



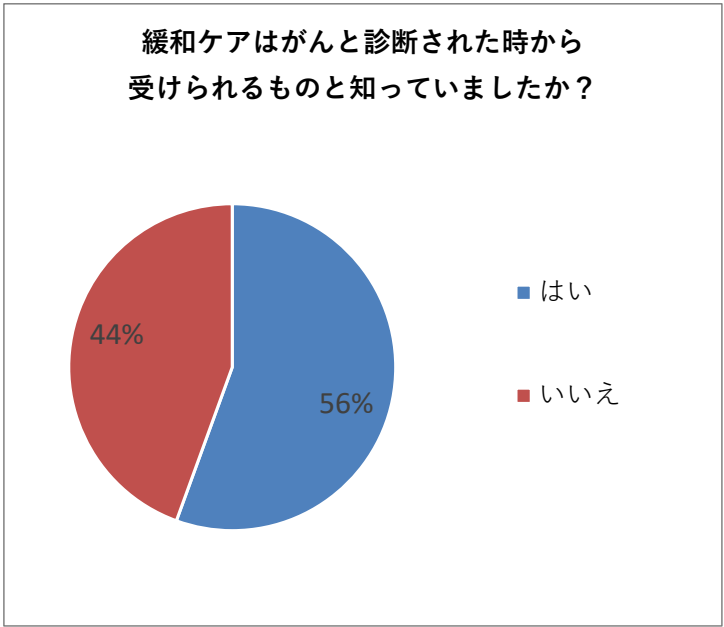
5:本日のプレスセミナーの進行についてお聞かせください。

	長すぎる	ちょうど良い	短すぎる	合計
人数	3	15	0	18



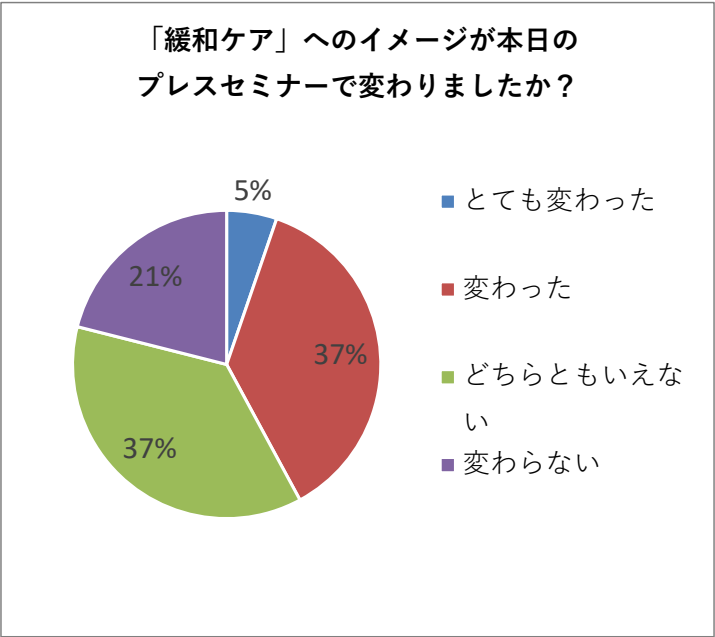
6:緩和ケアはがんと診断された時から受けられるものと知っていましたか？

	はい	いいえ	合計
人数	10	8	18



7:「緩和ケア」へのイメージが本日のプレスセミナーで変わりましたか？

	とても変わった	変わった	どちらともいえない	変わらない	合計
人数	1	7	7	4	19





「緩和ケアとは、病気に伴う心と体の痛みを和らげること」
平成 27 年度厚生労働省委託事業
「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーン

明日からの「がん報道」に役立つ「緩和ケア最新講座」

～緩和ケアの今、緩和ケアがもっと身近になるために～

- 日時： 2015 年 11 月 18 日（水） 15：00～17：30
- 場所： 国際研究交流会館 3F 国際会議場（国立がん研究センター築地キャンパス内）
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 TEL：03-3543-0332
- 主催： 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会

● オープニングメッセージ

司会： 「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーンメッセンジャー

たかまつなな

15：00～ 「緩和ケアが診断時から必要と理解している人はまだ 6 割」

日本緩和医療学会 理事長

細川 豊史

● 講座

15：10～ **がんの痛みを抑える医療用麻薬の活用を阻む「3 人に 1 人は誤解」の壁**

日本緩和医療学会 委託事業委員会 緩和ケア普及啓発 WPG 副員長 淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長

池永 昌之

15：30～ **からだの痛みのケアだけでなく、こころの痛みのケアは行き届いたか？**

日本緩和医療学会 委託事業委員会委員長 市立札幌病院精神医療センター副医長

上村 恵一

15：50～ **痛みやつらさをうけとめ、和らげるチーム ～こんなチームをもっと全国へ～**

緩和ケアチーム〔国立がん研究センター 緩和ケアチーム〕

16：10～ 休憩

● キャンペーン発表

16：20～ 「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーン発表
～がん治療医の立場から～

日本緩和医療学会 委託事業委員会 緩和ケア普及啓発 WPG 員長 愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター副センター長

下山 理史

16：50～ 質疑応答

17：20～ 交流

「緩和ケアとは、病気に伴う心と体の痛みを和らげること」
平成 27 年度厚生労働省委託事業
「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーン

明日からの「がん報道」に役立つ「緩和ケア最新講座」

～緩和ケアの今、緩和ケアがもっと身近になるために～

- 日時： 2015 年 11 月 25 日（水） 14：00～16：30
- 場所： ナディアパーク・デザインセンタービル 6F セミナールーム 3
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 3-18-1
- 主催： 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会

● オープニングメッセージ

14：00～ 「緩和ケアが診断時から必要と理解している人はまだ 6 割」

日本緩和医療学会 理事長 京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座 教授

細川 豊史

● 講座

14：10～ **がんの痛みを抑える医療用麻薬の活用を阻む「3 人に 1 人は誤解」の壁**

日本緩和医療学会 委託事業委員会 緩和ケア普及啓発 WPG 副員長 淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長

池永 昌之

14：30～ **からだの痛みのケアだけでなく、こころの痛みのケアは行き届いたか？**

日本緩和医療学会 委託事業委員会委員長 市立札幌病院精神医療センター副院長

上村 恵一

14：50～ **痛みやつらさをうけとめ、和らげるチーム ～こんなチームをもっと全国へ～**

緩和ケアチーム 〔名古屋医療センター 緩和ケアチーム〕

15：10～ 休憩

● キャンペーン発表

15：25～ 「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーン発表
～がん治療医の立場から～

日本緩和医療学会 委託事業委員会 緩和ケア普及啓発 WPG 員長 愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター副センター長

下山 理史

15：45～ 質疑応答

16：15～ **閉会のご挨拶**

日本緩和医療学会 副理事長 神戸大学大学院 医学研究科内科系講座 先端緩和医療学分野 特命教授

木澤 義之

司会： 「もっと身近に！」緩和ケア普及啓発キャンペーンメッセンジャー たかまつなな

講師紹介

細川 豊史 医師

日本緩和医療学会 理事長
京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座 教授
厚生労働省緩和ケア推進検討会 構成員
第 21 回日本緩和医療学会学術大会 大会長〔2016 年 6 月 17 日（金）～18 日（土）〕
～あなたらしさに寄り添って～ “愛と思いやり・・・そしてユーモア・・・”



木澤 義之 医師

日本緩和医療学会 副理事長
神戸大学大学院 医学研究科内科系講座 先端緩和医療学分野 特命教授
神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 診療科長
厚生労働省緩和ケア推進検討委員会 委員
『緩和ケアの基本 66 とアドバンス 44—学生・研修医・これから学ぶあなたのために』南江堂 2015 年 7 月発行
『はじめてのがん疼痛ケア：カラービジュアルで見てわかる！』メディカ出版 2015 年 9 月発行



池永 昌之 医師

日本緩和医療学会 委託事業委員会 緩和ケア普及啓発 WPG 副員長他
淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長
厚生労働省健康局 緩和ケア推進検討会 構成員
厚生労働省健康局 緩和ケア提供体制における実地調査に関するワーキンググループ 座長
『ホスピス医に聞く 一般病棟だからこそ始める緩和ケア』メディカ出版 2009 年 6 月発行



上村 恵一 医師

日本緩和医療学会 理事、委託事業委員会 委員長他
日本サイコオンコロジー学会理事、在り方・将来構想委員会 委員長他
市立札幌病院 精神医療センター 副医長 精神腫瘍学の基本教育に関する指導医他
『がん患者の精神症状はこう診る 向精神薬はこう使う』編集 じほう 2015 年 6 月発行
第 29 回日本サイコオンコロジー学会総会大会長〔2016 年 9 月 23 日（金）～24 日（土）〕
～北の大地から Peace of Mind 切れ目ないがんに伴う心のケア。つながる、ひろがるサイコオンコロジー～



下山 理史 医師

日本緩和医療学会 理事、委託事業委員会 緩和ケア普及啓発 WPG 員長他
愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター副センター長
愛知医科大学 客員教授（学際的痛みセンター）
愛知県がん診療連携協議会 緩和ケア部会 部会長
『はじめよう！がんの家族教室』共著 日本評論社 2015 年 8 月発行



◎司会

たかまつ なな お笑いジャーナリスト

1993 年神奈川県出身。中学・高校時代に読売新聞子ども記者団として活躍。第 14 代高校生平和大使として国際連合軍縮会議などに出席。慶應義塾大学・東京大学大学院情報学環教育部在学中。
2013 年「ワラチャン！～U-20 お笑い日本一決定戦～」優勝、お嬢様芸人としてブレイク、お笑いで社会問題を伝える「お笑いジャーナリスト」という新たなジャンルで活躍中。
独立行政法人国際協力機構等「なんとかしなきゃ！プロジェクト」メンバー、BS フジ『フロンティアドクター～医療の未来を切り拓く医人列伝～』パネラー等。

